



皆様のお祈りとご支援を感謝いたします。

こちらに来て5カ月が経ちました。夏休み、国内や海外からたくさんのボランティアが来て、Solaの活動を手伝ってくださりにぎやかな夏となりました。8月の初め、5年生の男の子から「テモテさんっていつ来たんだっけ？」と問われ、「4月の春休みの時、(ボランティアの)AさんとMさんとかが一緒だったときだよ」と答えると、「ああ、そうかあ。…あの時、公園でK君とキャッチボールしてたよね。」と、詳細まで覚えていたので驚かされました。色々なボランティアの方々が入れ替わり手伝ってくださっていた時期でしたので覚えてなくても仕方ないところ、彼ははっきり覚えてくれていたのです。

この夏出会い、共に時間を過ごしたボランティアのお一人ひとりも彼らの心に残ったことでしょう。国内・海外から、貴重な時間やお金をささげ、思いを持って来てくださったお一人ひとり、その笑顔や関わりが、子どもたちの心の支えとなり、力となったと感じています。一緒に、バスケットボールや野球をしたり、水鉄砲で戦ったり、野菜を収穫したり、クラフトを作ったり、ウクレレを教えてくれたりと、皆さんの心のこもった関わりに子どもたちはとびっきりの笑顔を見せていました。石巻(水明)では、BBQを行ない、子どもたちだけでなく保護者の方々ともお交わりを持つことができました。私たちの活動は、限られた、微かな働きですが、現地の方々の宝ものである子どもたちの笑顔が、地域全体に希望を与え、勇気を灯していくことと信じて取り組んでいます。

この夏、国分寺バプテスト教会から青年たちが手伝いに来てくださり、相模原から狩野武・弘子夫妻がオペラの公演に、石川洋一・芙美子夫妻が礼拝説教の奉仕に来てくださいました。ボランティアの方々には教えられることも多く、それぞれが感じたことやぶつかった課題を分かち合っていて頂く中で、色々な気づかされることもありました。足を運んでくださった方々、またお祈りや献金をもって私たちの活動をサポートしてくださった方々、色々な形でつながってくださるお一人お一人に心から感謝しています。

このように皆様のお祈りと協力によって、怪我や事故から守られ、無事にプログラムを終えることが出来て感謝でした。しかし、子どもたち一人ひとりの成長という視点に立って振り返りますと、もっとこのように声をかけるべきだった、こんなふうに関わればよかった…と沢山の課題も示されます。

私自身が、五年後、十年後、子どもたちにどんなふうになってほしいと願い(どんな東北になってほしいと望むか)、そのことを今の関わりの中でどのように反映させられるかが問われているのです。

私たちの活動は、子どもたちが前を向いて生きていけるように、心を育てることを目的としています。困難や悲しみに挫けず、希望と喜びをもって生きていけるように助け、命を愛し、人との絆(連帯)を大切に生きていけるように、小さな関わりを重ねながら、一人ひとりの心が丈夫に育っていけるように取り組んでいます。教育“education”には「引き出す」という意味があると教わったことがあります。礼儀や社会性を身に着けさせることも大切ですが、ただ扱いやすいお利口な子を育てるのではなく、一人ひとりの持ち味(個性、ユーモア)を大切に育んでいきたいと願っています。そのためには、信頼関係を築き、安心を与えることが大切です。約束を守らせるにはこちらが約束を守ることが、愛をもって生きていくためには愛されることが必要です。震災の影響で、仮設で暮らす低学年の子たちに情緒の不安定と学習の遅れが目立つように感じているのですが、そうした子たちが発する態度に動揺せず、その子の状態を受けとめて、その子なりの頑張りを認めてあげられるように心がけています。そして、子どもたちの喜ぶ顔に私自身も元気をもらっています。これからもお互いの存在が喜びとなり励ましとなる、そのような関係を皆さんと共に築いていきたいと願っています。今後も応援宜しく願います。



みんなで食事づくり



ウクレレ教室



おいしい食事をありがとう♪



プールで大はしゃぎ



ウォーターバトル！！



とれたてポテトおいしかったです



そらスペース



JEMSテキサスチームと

～ Serve for Others

Live with one Another ～ 鈴木手以

E-mail timocsuzuki@gmail.com

Facebook [timocsuzuki](https://www.facebook.com/timocsuzuki)



<http://solaito.jp/>

支援金送金先 ゆうちょ銀行 (支店名) 〇一八 (記号) 10120 (番号) 普通 40265161

(名義) Sola *他銀行から送金くださる場合は下線の部分のみを入力ください。

*備考欄、またはWebの「スタッフの支援」にて、「鈴木手以指定」とお知らせください。